

退任だより
とどろき

◆ 第103号 ◆

発行所 〒211-0051
川崎市中原区宮内4-1-2
一般財団法人川崎市立学校教職員互助会
退職互助事業室
電 話 044-733-3337 FAX 044-733-9779
<http://www.k-gojo-todoroki.or.jp>
発行日 令和6年7月10日



令和6年度 第1号

目次

★会長あいさつ	2
★Enjoy My life 会員からのたより	
保崎 万里 さん	3
岩田 恵美子 さん	3
★趣味の会活動紹介	
(写真・生け花・園芸)	4
(絵画・短歌・俳句・書道)	5
★歴史(文学)散歩	
對馬 醇一 先生	6
★とどろきギャラリー紹介	7
★事務局だより・哀悼	8

「オルー口のカルナバル」

写真・説明：森 妙子 さん

南米三大カルナバルの1つで、3日間朝から晩まで、民族ごとにさまざまな豪華な衣装を着けて、踊りながら行進するさまは、圧巻です。

オルー口は、標高3000m位に位置する町なので、観光客は高山病になりやすいのですが、現地の青年海外協力隊も踊りに参加しています。現地ボリビア人の若者からわたしに「持ち上げてやるから、真ん中から写真を撮ってくると良い」と、勧めてくれるほど、日本人に親近感を持っている国でした。

「社会の変化と互助の精神」

一般財団法人川崎市立学校教職員互助会
会長 鈴木 信一郎



暑さも増して、いよいよ夏本番となりますが、皆様お元気でお過ごしのことと思います。

早いもので7月に入りました。7月は文月とも呼ばれています。諸説ありますが、夜が長くなり読書に適していることや、七夕の短冊に歌や文字を書いたことからこの名がついたとも言われています。会館とどろきのギャラリーに展示している七夕の笹にも、今年もたくさんの子どもたちの願いがかかげられました。家族の健康や学校生活のこと、将来の夢等、子どもたちの素直な思いが実現することを心から願います。

会館とどろきの利用も少しずつ増えてきました 笑顔でお迎えしたいと思います

さて、コロナも収束に向かい、会館とどろきの利用も少しずつ増えてきました。一般の方の健康診断やサークル活動等の利用、教職員の方々の総会や研修の利用も戻りつつあります。会館の利用方法ですが、昨年度より「時間貸し」から「枠貸し」となりました。その結果、効率も上がり利用者数も増えました。今後も利用者の方に喜んでいただけるよう努力していきたいと思っております。なお、今年は宮内中学校の生徒さんの職場体験学習を行いました。会館とどろきの業務を通し、働くことへの興味や関心を深め、将来の夢や希望につなげてほしいと思っております。

最先端の駅 高輪ゲートウェイに集合し、 東京タワー、浜離宮恩賜庭園等を歩きました 心配された天気もよく、東京タワーの約600段の 階段を降りた方もいらっしゃいました！

5月21日(火)に第1回歴史(文学)散歩を開催しました。29名の方が参加されました。まず、近代的な高輪ゲートウェイ駅に集合しました。1階がホーム、2階が改札・デッキになっていて、鉄道テラスやイベントスペースがあり、ステーションピアノの設置もありました。無人のコンビニエンスストアに驚きながら、高輪大木戸跡、増上寺に向かいました。増上寺の三解脱門や大殿と重なる東京タワーの対照的な景色に感動しました。東京タワーは自由に見学し、懐かしさや景色を堪能しました。エレベーターではなく、階段を降りたという方もいて、健脚に驚きました。その後、浜離宮恩賜庭園、旧新橋停車場を見学し、解

散しました。皆様和気あいあいと元気に散歩を楽しみました。講師の對馬淳一先生にも心から感謝したいと思います。ありがとうございました！

65歳定年延長の引き上げが始まりました どうしたら前に進むのか 苦渋の決断ですが 厳しい改革・見直しを進めなければなりません

いよいよ65歳定年延長の引上げが始まりました。この3月には定年退職者がおりませんでした。定年延長については以前お知らせした通り、2年に1歳ずつ定年年齢が上がっていきます。10年後に完成しますが、その間5回定年退職者がいない年が出てきます。つまり2年に1回は定年退職者がいないこととなります。退職互助事業では入会金収入が大きな事業運営の資金となっておりますので、入会者がいないと入会金収入がなく、しかも5回もそのような年があると積立金では補えなくなってしまう。

また、ここ数年退職互助事業の入会者数が減少しています。5～6年前は約50～60名の入会者数がありましたが、徐々に減少し最近は半数以下になっています。コロナ禍の影響や年金支給が65歳からとなり働く方が増え、退職についての考え方や価値観も社会の変化と共に変わってきたのかもしれない。

令和4年度から退職互助事業検討委員会を設置し、退職互助事業の今後について話し合いを進めてきました。昨年12月に2年に及ぶ8回の検討委員会を終了し、報告書が提出されました。検討委員の皆様には辛く厳しい時も多々ありましたが、真摯に向き合い誠実に考えてくださり、心から感謝申し上げます。その後、退職互助事業及び運営に関する懇談会、理事会、評議員会で話し合い、ご審議いただきました。

会員の皆様にはこれまでもお伝えしてきましたが、会員通信等で退職互助事業の見直し・削減等についてお知らせしていきます。ご心配をおかけし、申し訳ございませんが、ご理解ご協力をいただけますようお願いいたします。

困難をどのように受け止め、乗り越えていくか、しなやかな力と柔軟な対応力が今後ますます必要になってくると思われれます。互いに助け合う互助の精神を大切に前に進めていきたいと思っております。



異なる文化の中で生きる子どもたちに学ぶ

NPO教育活動総合サポートセンター 保崎 万里



私は、平成29年からNPO教育活動総合サポートセンターの活動に関わらせていただいています。その中で、現在活動に参加している「日本語支援幸町教室」をご紹介します。これは、「外国につながる子ども向け寺子屋事業」で、異なる文化的背景を持つ子ども達との交流は、発見や驚きに満ちた私の貴重な学びの場です。

月2回土曜日、幸町小学校の図書室に、周辺の小・中学校に通う中国・バングラデシュ・ベトナム・ベルギーなど、様々な国につながる子ども20数名が来室します。支援する寺子屋先生は、教員経験者、地域の方、大学生などです。

学習の前に、まず全員で言葉遊び。「○のつく言葉集め」は子ども達が大好きな活動です。「す」のつく言葉集めでは「すばらしい」という言葉に拍手がおきたり、途中に「す」が入る「さんすう」に「それがあったか!」と感心したり…、気持ちがほぐれたところで学習を始めます。

私にとっては「自分の『当たり前』は、誰にとっても当たり前ではない!」という発見が毎回あります。例えば、日本の「季節感」は、教材によく出てきますが、季節感を伝えるのは難しく、四季がある日本ならではの文化だと感じます。6年生が卒業式寸前に母国に里帰りをしてしまう、新年度、新学年の始業式に日本に戻ってきていないということもあり、卒業や進級が日本ほど特別な節目だと意識されていないこともあったと知りました。

土曜日の朝、回を重ねるごとにリラックスした表情で来てくれる子ども達ですが、異なる文化の中で生きる子ども達が元気に通ってこられる居場所であることを願っています。まだまだ子ども達から学ぶことがたくさんありそうです。

このような活動に関わり、子ども達が日本の文化の中でどんな思いをもって生活しているか、理解して寄り添ってくださる支援者がこれからも増えていくことを願っています。



音楽が大好きで、ドレミが多少わかる。

岩田 恵美子



小さな楽器で素敵な響きのオカリナ!一緒に吹いてみませんか!



平成16年に退職して、非常勤職員として初任者の後追いの仕事はありましたが、これから何をしようかと夢いっぱいでした。そんな折、「川退教だより 趣味の部」オカリナクラブの勧誘文に「音楽が大好きで、ドレミが多少わかる。小さな楽器で素敵な響きのオカリナ!一緒に吹いてみませんか!」嬉しくて即入会しました。「オカリナクラブ」は、当時会員は

8名で、当番を決め、楽譜を持ち寄り練習、先輩方に教わりながら楽しく合奏しました。老人ホーム等にでかけ、オカリナ演奏に合わせて歌っていただくこともありました。現在クラブの中心になっている会員6~8人も入会しました。

そして平成29年、中学校の音楽科土澤先生が入会。先生には、美しい音色の響

かせ方、能率的な演奏ができる変え指、息の使い方、他のパートの音の捉え方等々、たくさん教わりました。楽曲を私達が吹き易いように編曲、逆に私達が演奏したい曲目や演奏についての希望等、常に私達を気持ちよく盛り立ててくださる先生でありリーダーです。

新しい会員もふえ、楽しい雰囲気の中で、落ちこぼれにならないように頑張っている私です。孫のピアノに合わせてオカリナを吹くように、他の楽器と合わせたり、オカリナ演奏で歌っていただく機会を設けたり、オカリナ中心の生活を楽しんでいます。



趣味の会

入部のお誘い



若いころに比べると体が動かなくなったりと感じることもありますが、じっくりと取り組みたいこと、これから新しく挑戦する気持ちを持っている人、友だちと交流の場として「趣味の会」の活動があります。新しい会員の方の入部をお待ちしています。10月、会館とどろきギャラリーでの発表もあります。是非一度、ご連絡ください。

写真の部

一緒にどうぞ

小田島 紀美 さん



- 世話人 小田島 紀美・天川 美章
- 活動日 第1金曜日 13時から15時 会議室2
- 撮影会 年1～2回
- 作品展 年間4回（ギャラリー利用）
- 退職互助会作品展に参加

「とどろきフォトサークル」として設立されて37年。現在7名のメンバーで活動しています。定例会では各自A4作品を持ち寄り、作品研修会を行います。年4回（互助会作品展を含む）のギャラリー作品展ではA4～A3の作品をひとり4～5作品展示し、合評会を開きます。昨年は、江の島や横浜で撮影会を実施しました。昼食会も併せてやるので、写真が不調でも楽しい思い出になります。「続18のアイ」という写真作品集を毎年作成しています。レイアウトや印刷会社との対応は大変ですが、メンバーの協力で素晴らしい写真集ができています。コンパクトカメラやスマホでOKです。一緒にどうぞ!!

生け花の部

楽しく生けましょう

稲垣 美穂子 さん



活動当日、届けられた季節の花を眺めて、花器を決め生ける。自宅で、再度生けて楽しむ。心豊かで、うるおいのある生活をするために自然を生かして楽しむ。お花を生けてみませんか。同じ花材でも、それぞれの個性が生かされた作品となり、感動と楽しさのある一時を過ごしています（生け花・フラワーアレンジメント）。秋の作品展には各々の技量が発揮された作品の展示を行っています。ご見学、ご連絡をお待ちしています。

- 世話人 稲垣 美穂子・米田 美津江
- 活動日 第4水曜日 12時30分～15時 会議室2

園芸の部

大きな花を咲かせましょう

金内 幾代 さん



毎年のように20年以上も菊の花づくりに向き合ってきました。種類は「だるま」と「福助」。「だるま」は7月から育て始め、1本の苗から3本の枝にします。「福助」は、8月から1本の枝で育てます。大きな葉、太い茎になるようにと、水は毎日、太陽の当たり方、虫に食われていないかなど、重く大きくなる鉢を、朝・昼・夜いつも気になってしまいます。

温暖化のためか、思うように育ちません。また、大きな鉢の移動も大変なので、今年は各家庭で楽しむことになりました。

- 世話人 金内 幾代・高橋 智恵子
- 活動日 第2火曜日 12時30分～15時 小会議室

絵画の部

ゆったりとした時間を、 一緒に楽しみましょう！

藤田 力 さん

毎月第2・4土曜日の9時30分から12時まで学習会を開いています。題材は、当番制で持ち寄ります。季節に合った花や置き物、飾り物など静物を描きます。

会員の皆さんも年を重ねてまいりましたが、昼食会を開き、談笑しながらお互いの作品を批評するなど、楽しいひと時を過ごすとても温かく楽しい会です。新しく入会される方大歓迎です。いつでも、退職互助事業室までご相談ください。

- 世話人 藤田 力・高尾 寛雄
- 活動日 第2・4土曜日 9時30分～12時 会議室2



短歌の部

31音の不思議な世界へ

佐藤 茂治 さん



毎月第2火曜日に月例会を開催しています。準備は、ひとり2首ずつ作品を提出し、詠草としてまとめておきます。それを月例会の時に、意見や感想を話し合い批評しながら学び合っています。

この他に、年間のまとめとして各自20首の作品を掲載した合同歌集を編集しています。短歌に興味、関心をお持ちの方の入会を心からお待ちしております。どうぞ、会館とどろき退職互助事業室までご連絡ください。

- 世話人 佐藤 茂治
- 活動日 第2火曜日 12時30分～15時 会議室2

俳句の部

身のまわりにある自然を、素直な言葉に！

川田 潔 さん

俳句は、身のまわりの生活や自然への想いを季節を表す言葉（季語）を入れ、五・七・五の十七音で詠む短詩であり、日本固有の文芸として、昔より多くの人に親しまれ、数多くの句集も発行されています。

毎月第4月曜日に同好の士が集い、句会を開き、4句投句・6句を互選し、その結果を句会報『ななかまど』に掲載して配布しています。『ななかまど』は、395号を編集中です。また句会報は50号ごとに「合同句集（一人30句）」を発行し、今までに合同第5句集までになりました。

生活の充実、余暇の活用など、趣味としても高尚であり、初心者でも気軽にチャレンジできます。一緒に楽しんでみませんか。

- 世話人 川田 潔・池之上 輝夫
- 活動日 第4月曜日 12時30分～15時 会議室2



書道の部

休部・作品展の展示について

これまで、月2回「会館とどろき」を会場に活動していましたが、現在活動を休止しています。入部を希望される方や10月から開催されます「退職互助会員作品展」には、参加することができます。ご希望の方は、退職互助事業室（☎733-3337）までご連絡ください。



「汽笛一斉新橋へ」

講師：對馬 醇一 先生

《見学コース》

- JR
「高輪ゲート
ウェイ駅」
集合
- ↓
- 「高輪築堤」
について
- ↓
- 「高輪
大木戸跡」
- ↓
- 「増上寺」
(徳川将軍家
靈廟)
- ↓
- 「東京タワー」
- ↓
- 「浜離宮
恩賜庭園」
- ↓
- 「旧新橋
停車場」
- ↓
- 「新橋駅」
解散

★生まれ変わろうとする都市「高輪」



港区は、千代田区・中央区とともに、IT企業や放送局、外資系企業の日本支社が多くあり、駐日大使館や

高級住宅街、ビジネスや商業エリアとして、大きく変わろうとしています。

「高輪ゲートウェイ駅」が開設し、益々未来都市を感じられる地域となりました。

この地域の開発により、明治5年に「汽笛一斉新橋へ」の呼び名で知られている、日本で最初の鉄道(新橋～横浜間29Km)跡が、よみがえりました。これが「高輪築堤」です。当日参加した29名の皆さんは、調査中により実際に見ることはできませんでしたが、對馬先生より、歴史的な経緯などの説明を受けました。

この後、大きなビルディング工事が進む中を、歴史的な遺産「高輪大木戸跡」や「増上寺」を目指しました。



★「増上寺」と「東京タワー」



江戸時代の建造物である「増上寺」と東京のシンボル「東京タワー」が同じ視線で見られます。このエリアは、外国人観光客や修学旅行生たちも多く見られます。「増上寺」では、「徳川将軍家靈廟」があり楽しみにしていたスポット

でしたが、当日行ってみると「本日休園」と表示されていました。少し、残念な気持ちになってしまいました。

気を取り戻して「東京タワー」です。何十年ぶりに来ましたと言う方も多かったです。幸い

天気が良かったので、東西南北遠くの方まで見ることが出来ました。150mの展望台から歩いて降りてくる健脚もいました。

★「浜離宮恩賜庭園」から「旧新橋停車場」へ



東京湾から海水を取り入れ、潮の干満で景色を楽しむ塩入の回遊式築山泉水の庭です。当日は、アヤメが

咲くには少し早かったですが、芝生にびっしりとシロツメクサが自生していました。子どもの頃によく遊んだねと昔を思い出せる一瞬もありました。

江戸時代に甲府藩下屋敷の庭園として海を埋め立てて造成、徳川将軍家の別邸、宮内庁管理の離宮を経て現在東京都立公園として開放されています。わたしたちも、しばし東屋にて休憩をしました。

ここから「旧新橋停車場」に行く道筋は、未来空間を感じさせます。

ゆりかもめ汐留駅付近は、汐留シオサイトと呼ばれ、不思議な感じのする一帯です。人の歩く場所は2階！路面は片側3車線の自動車道路、横断歩道を探すのも大変です。道路を挟むように2階に遊歩道があります。この遊歩道、側面部分が透明なアクリルボードで出来ているため、眼下に車を見ながら地上を浮遊しているような感覚になれる場所で、この地域は、車が主役の場所なのかなと感じました。

さて、最後の訪問地は「旧新橋停車場」です。高輪ゲートウェイ駅から新橋停車場2.9Kmの旅の終着駅です。当日は、企画展「大機関車展」が開催されていました。

過ごしやすい天候にも恵まれ、爽やかな汗をかいた歴史(文学)散歩になりました。参加者の皆さん、ご苦労様でした。



文責：事務局

とどろき「ギャラリー紹介」

会館とどろき1Fギャラリーには、毎年多くの団体
 が出品して下さいます。会議や健康診断、趣味の会、
 子どもたちの習い事のために集まってくださる皆様から
 喜ばれています。



近隣校書道作品展・中学校



近隣校書道作品展・小学校



中学校技術家庭科作品展



中学校新聞コンクール



中原区造形展



みづき会



こすぎの大学お絵かき部



ビーズフラワー展



教育文化作品展



しゅろの会

事務局だより

令和6年度 歴史(文学)散歩

●第2回 10月11日(金) 開催
「世界一の本の街」 神田神保町を訪ねて
～本好きの街 古書店を歩く～

会員通信2号にて募集
新御茶ノ水・明治大学博物館・東京古書会館他



●第3回 11月12日(火) 予定
「祝 川崎市制100年」
～工業発祥の地と新庁舎を訪ねて～

会員通信3号にて募集
川崎駅・ラゾーナ・明治製糖護岸壁跡・川崎競馬場・東海道川崎宿・川崎市役所新庁舎など



哀 悼

謹んでご冥福をお祈り申しあげます。

《最終所属》

佐々木淑子 様 (72歳) 令和元年10月 5日 《養護》
高橋 愛子 様 (88歳) 令和 5年 2月18日 《金程中》
吉田 輝子 様 (94歳) 令和 5年 4月 9日 《中原小》
小島 礼子 様 (87歳) 令和 5年 4月23日 《子母口小》
芳賀 学人 様 (94歳) 令和 5年 4月28日 《今井中》
村田 忠治 様 (86歳) 令和 5年 8月25日

《総合科学高》

寺尾 浩次 様 (97歳) 令和 5年 9月13日 《高津高》
岡 一郎 様 (67歳) 令和 5年 9月28日 《川中島中》
小林 茂 様 (93歳) 令和 5年 9月29日 《玉川中》
鎌方 環 様 (83歳) 令和 5年10月29日

《総合教育センター》

古関はるよ 様 (82歳) 令和 5年11月11日 《新町小》
日比野幹夫 様 (89歳) 令和 5年12月14日 《幸町小》
原田 洋子 様 (84歳) 令和 5年12月22日 《桜本小》
東 卓雄 様 (94歳) 令和 5年12月31日 《千代ヶ丘小》
霜島 義雄 様 (91歳) 令和 6年 1月 7日 《四谷小》
田島 健一 様 (88歳) 令和 6年 1月 9日 《塚越中》
石井 敬至 様 (89歳) 令和 6年 1月14日 《古市場小》
渡部 泰明 様 (95歳) 令和 6年 1月19日 《住吉中》
田島 澄江 様 (92歳) 令和 6年 1月21日 《大谷戸小》
田部井史郎 様 (90歳) 令和 6年 1月22日 《宮崎小》
八代 重雄 様 (92歳) 令和 6年 1月22日 《高津高》
榎本 重次 様 (73歳) 令和 6年 2月14日 《西野川小》
小林 正幸 様 (96歳) 令和 6年 2月16日 《西生田中》
志子田宣生 様 (92歳) 令和 6年 2月21日 《桜本中》
興石 昌澄 様 (89歳) 令和 6年 3月11日 《王禅寺中》
伴 克二 様 (82歳) 令和 6年 3月19日 《宮崎台小》
吉田 一夫 様 (93歳) 令和 6年 4月 2日 《川崎高》
樋口 正隆 様 (87歳) 令和 6年 4月 3日 《犬蔵小》
菅野 明 様 (85歳) 令和 6年 4月 5日 《南百合丘小》
雨宮 英準 様 (92歳) 令和 6年 4月21日 《高津中》
高橋 理夫 様 (81歳) 令和 6年 5月 6日 《大島小》
油布 忠司 様 (100歳) 令和 6年 5月 8日 《高津中》
木下 敏美 様 (79歳) 令和 6年 5月28日 《登戸小》
垣東 節夫 様 (77歳) 令和 6年 6月 5日

《総合教育センター》

作って飛ばそう ゴム動力飛行機

昨年開かれた、夏休み工作教室の一コマ。40名程の子どもたちと一緒に、空高く飛行機を飛ばしました。

今年も暑い夏と友だちになりましょう！

